

国際医療交流の拠点づくり 「りんくうタウン・泉佐野市域」地域
活性化総合特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(3.5+3.5)/2=3.5$

3.5

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	国際医療交流の推進	133%	4
2	訪日外国人へのホスピタリティや地域魅力の向上による訪日促進	76%	3

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 0 + 4 \times 1 + 3 \times 1 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 2 = 3.5$

3.5

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 評価指標1は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が整合しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

3.5

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(3.6+2.5+2.8)/3=3$

3.0

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.6

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

2.5

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

2.8

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

2.8

・訪日外国人の増加に応じて、医療通訳の育成と対応を増加させていることは評価できる。全体として一定の活動成果は上がっていると認めるが、特区ガイドの活動件数向上等のため、一層の認知度向上、活動実績向上策の考案が必要。

・外国人がん患者診療数が伸びていないことに対する現状分析が必要。地域全体の観光客の増加が本来の特区の目的である国際医療拠点作りと乖離している印象があり、それに対して地域独自の新たな取組もほとんど行われていない。診療数の増加に向けた具体的な対策に期待したい。

・空港から国内各地への移動手段は整備されており、特段の利点、魅力がなければ、隣接市でのがん医療の受診は選択しないと思われる。現実的な目標の再設定が必要である。

・本プロジェクトの独自性が、事業間の連携に求められているように判断できるが、その連携を十分にコーディネートできているとはいえない。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

2.8

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(3.5+3+2.8 \times 2) \div 4 = 3$

3.0

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

・評価は5～1(評点)で行う。

・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。

・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。